

## 翠星高校との議会報告で寄せられた意見について

(テーマ)

- ・ 住み続けたいと思うまちづくり
- ・ 若者（自分達）がまちづくり（政治）に興味を持つためには
- ・ どうなれば（どうすれば）若者（自分達）は投票（選挙）に行くか

No	議会報告会での高校生からの主な意見	常任委員会での協議内容
1	<p>交通の便が悪い。バスの本数を増やしてほしい。通学の時間に合ったバスがほしい。朝早い時間にバスがあるとよい。</p>	<p>利用状況について、高校生の多くは悪天候時の御利用となっており、恒常的な御利用については非常に少ない状況です。通学時間帯についてはどの路線でも増便の要望がありますが、同じ時間帯に集中するために運転手や車両に限りがあり、対応が困難な状況です。また満員で増便しなければならないというほどの利用状況ではありません。逆に路線バスについては御利用者の減少から多くの路線で廃止や減便が検討されている状況です。市としては赤字路線への支援を継続するなど維持存続に努めていきたいと考えています。</p>
2	<p>高校前の横断歩道（アピタ側）に歩行者用の信号がない。横断歩道の白線が消えている箇所がある。</p>	<p>信号機の設置については公安委員会が判断することになります。さらに警察庁が定める信号機の設置基準を満たすことが必要となるほか、地域の地区要望が必要となります。この設置要望につきましては、市を介して警察に行くものと警察に直接行くものの主に2通りがありますが、当該箇所の横断歩道の信号機の設置要望については、令和2年から警察や市のほうに対してなされていない状況です。</p> <p>横断歩道の白線が消えている箇所については、場所が明示されていないので一般論をお話ししますと、横断歩道の管理についても公安委員会が判断し行うこ</p>

		<p>ととなっています。この実態については警察署が調査していることになり、現在県警察では横断歩道の塗り直し等については、いわゆる春ゼブラ、秋ゼブラと称して、年2回の調査と塗り直しを行っています。今回春ゼブラで塗る予定があるかを警察に確認したところ、把握されていないとのことでしたので、来年度の秋ゼブラで塗るように依頼しています。</p>
3	投票所の堅苦しさをなくすればよい。	<p>明るい音楽を流したりですとか、花で飾りつけを行ったりということを投票所へ推奨しています。市職員には明るく親切で丁寧な対応に努めるよう周知しています。今後も引き続き県選管をはじめ様々な機関との情報交換をする中で何か効果的な施策について研究を進めていきたいと思っています。</p>
4	投票所がもっと近くにあればよい。コンビニやポストで投票できればよい。投票を電子化してスマホのQRコード等でもできるようにしたらよい。	<p>オンライン投票が実現すれば有権者や管理・執行する側にとっても大きく利便性が上がり事務の効率化が図られると思いますが、現状ではなりすまし投票を防止するための個人の特定や情報管理の徹底、システムトラブルのときにいかに迅速に対応するかというような様々な課題があり、すぐにこういったことを実現するのは難しいと思いますけれども、いずれそういう社会になるということはぜひ期待したいと思います。</p>
5	自分にとってのメリットが分からない。選挙の重要性が分からない。クーポンがもらえるなどのメリットがあると投票しに行く。	<p>何のための選挙であるのか、選挙は自分がよいと思う施策を実現してくれる候補者、期待できる候補者に自らの意思で一票を投じるというのが基本的な考え方であると思いますし、そのことがよりよい社会の実現につながる、すなわちメリットであると思います。この辺が若者に認識されていないのは、今後の教育についても非常に難しい問題かと思っています</p>

		<p>が、現在行っている選管の啓発活動もそうですし、効果がなかなか上がらないという御指摘もあるのですが、他市あるいは他の自治体の取組状況も参考にしながら、民間とも情報交換をして御意見も頂きながら、何が若者にとって受け入れやすい情報提供につながるのかを考えていきたいと思います。クーポンについては、何か物的なメリットを提供する見返りに投票に行ってもらおうというのは、本来の趣旨からは外れるとも思いますので、現在のところ投票済証明は考えていません。しかし、投票率の向上、選挙に行ってもらおうということの一つの効果的な取組と言えると思いますし、他市には実際にやっているところもあり、研究をしていきたいと思います。</p>
6	<p>高校や大学の授業料に補助があればいい。</p>	<p>高校生への授業料等への補助の一つは、高校生奨学金交付事業で、教育の機会均等を図り有能な人材を育成するために奨学金を支給し、その才能を育成するものです。1人当たり年間6万円で、令和4年度当初予算計上額は前年同額の90万円です。もう一つは、高等学校等就学旅行費支援事業で、市内高校生が参加する修学旅行がより充実したものとなるように、低所得者世帯の高校生に対する修学旅行にかかる費用の一部を助成するものです。1人当たり3万円で、令和4年度当初予算計上額は前年同額の270万円です。</p>
7	<p>地下道（8番ら一めん付近）から新徳丸、若宮へ向かう道が狭い。</p>	<p>昭和49年の都市計画法改正前に宅地造成された地域であり、町内会が管理する区道となっています。当地域は住宅が密集していることから、道路幅を広くするためには住宅の移転が必要となることから、住民の御理解と多額の事業費や、長期にわたる通行制限により通勤通学に御不</p>

		<p>便が生じることとなります。また、道路拡幅することにより、自動車の乗り入れが容易になることから交通量が増え、危険な状況となる可能性も考えられます。道路拡幅については大変厳しいですが、この道路を利用される方が安全に通行できるよう、安全施設等の対応や通学路であることを強く認識できるような処置も行っており、今後も関係機関と連携しながら歩行者及び自転車利用者の安全確保を図っていきたいと考えています。</p>
<p>8</p>	<p>屋外でのスポーツや遊びの選択肢があるまち。スケートボードができる場所をつくってもらえるに関心を持つ。</p>	<p>現在、白山市内の屋外体育施設にはグラウンド17か所、テニスコート11か所、スキー場2か所の計30か所がありますので、御利用いただきたいと思います。スケートボードについては、東京オリンピック2020で日本代表選手がメダルラッシュとなるなど、昨今大きく注目されている状況です。また、若者を中心に様々な年代の愛好者がおり、新しいスポーツ文化創出も期待されているところです。競技場を整備するには、現状の課題を把握するとともに、今後可能性を検討していきたいと思いますが、現在、市としては既存施設の利活用を柱として老朽化した市内体育施設の長寿命化の改修に当たっており、すぐには新しい競技場を整備することは難しいと考えています。</p>